

エゾカフェ店主敬白

VOL.7 2010/8/6

こんにちは、エゾシカフェ店主の石崎です。

エゾシカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、『エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる』ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

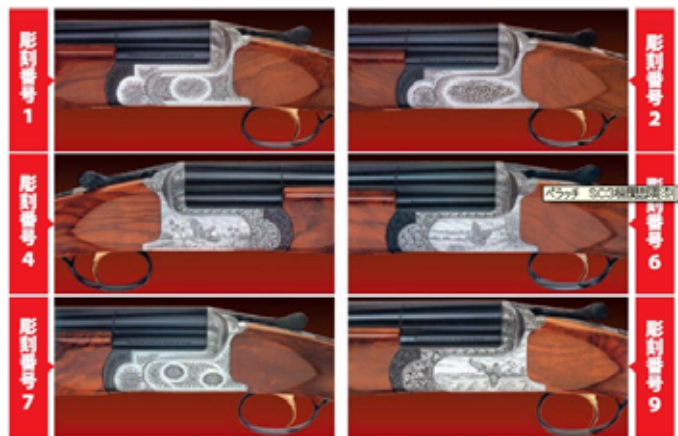
銃について

いや～やっとな銃について書いてもいいかな！？と思えるようになりました。エゾシカフェの店主がいきなり銃の話したら、さすがにビビるかなとおもって、今まで書かなかったんですよね。銃といっても、多くの種類があり、多くのメーカーが作っているのだから、今日は、ざっくりと説明したいと思います。

アメリカ vs ヨーロッパ

銃をたくさん作っているのは、アメリカとヨーロッパです。特に、日本で入手できる散弾銃を

作っているのは、アメリカ製（レミントン、ブローニング）とイタリア製（ベレッタ）がほとんどです。アメリカ製の銃は、まず安い！一丁が10万円を切るものもたくさんあります。また、頑丈で重く、レバーや引き金などが太いです。持ってみると、ずっしりでいかにも、『軍用』っぽい感じがします。一方、ヨーロッパの銃は大量生産ではなく、職人が一丁ずつ作って高いです。カタログを見ていると、まず一番に選ぶのは銃の装飾（彫刻）だったり、軽くて強い合金を使って銃を軽くしたりといろいろな工夫がされています。ヨーロッパの銃はカッコいいし、こだわりもあるので使いたいのですが、いかんせん高い。100万円以上する銃はなかなか買えません（泣）。お金もちの人はぜひヨーロッパの銃を！！



レミントンが選ばれるわけ

レミントンは、アメリカの銃メーカーです。米国内には、ブローニングというライバルメーカーもありますが、ブローニングはヨーロッパで作っていたりするので、レミントンが一番アメリカらしい銃と思います。



アメリカの銃は安いので市場にたくさん流れています。そのため、替え銃身や、銃弾やその他アクセサリーがたくさんあるのです。また、仕事で銃を使う人（ヒットマンじゃないよ。）は、先輩が使っている銃と同じもの…となると、レミントンになるんですね。ま、僕の銃もレミントン M11-87(20×26)だったりしますしね。

エゾシカフェ 東京都世田谷区太子堂 2-35-6

店主 石崎英治 e-mail: hideharu_ishizaki@q-easy.jp tel: 090-2057-1415